

森林を愛する人づくり事業活動

3/16-17(土・日) **【東京都】木工クラフトワークショップ** **268名参加**



「TOKYO OUTDOOR WEEKEND」にて、ネイチャークラフト作家の長野修平さんに「ニッセイの森」の間伐材を使ったワークショップを出展していただきました。

3/17(日) **【宮城県】ふれあい木育教室** **30名参加**



宮城県県民の森にて「森から考えるESD学びの森」で間伐したヒノキ材を利用した看板づくりに挑戦しました。

3/23(土) **【宮城県】ふれあい森林教室** **23名参加**



多賀城市ジュニアリーダー研修として、高枝の除伐や遊歩道整備、切り株の抜根作業を行いました。

樹木名プレートの設置

※当月中に写真を送付いただいた学校等を掲載

10/31(水) **【千葉県】松戸市立横須賀小学校** **40名参加**



地域の方々にご協力いただき、樹木の名前、木の特徴、活用方法等の話を聞きながら、プレートの作成と設置をしました。

12/5(水) **【栃木県】真岡市立真岡東中学校** **32名参加**



クラス毎に担当の樹木を決め、図鑑で葉や果実について調べました。児童1人1人の工夫により、素敵なプレートとなりました。

12/5(水) **【茨城県】つくば市立並木小学校** **24名参加**



緑化委員会活動として校内の樹木名を調査し、プレート作成を行いました。プレートが長持ちするようニス塗ってから設置しました。

1/25(金) **【栃木県】熊本県立ひのくに高等支援学校** **186名参加**



樹木の名前や特徴を知る取組み・活動内容を全校集会で説明し、樹木名プレートの作成、設置も全校生徒で行いました。

2/1(金) **【福島県】福島県立西郷支援学校** **20名参加**



プレートの設置により、児童・生徒の樹木への興味、関心に結びつきかけになりましたとの感想をいただきました。

2/7(木) **【愛知県】大府市立北山小学校** **23名参加**



1年生の生活科「わたし、ほくの木」、4年生の理科「四季の観察」で、プレートの設置された樹木について、興味深く観察しました。

2/14(木) **【愛知県】安城市立安城西部小学校** **104名参加**



6年生の卒業記念として、プレート作成と設置を行いました。文字の色が落ちないように、彫刻刀で彫りマジックで色付けしました。

2/15(金) **【和歌山県】串本町立古座小学校** **8名参加**



委員会の時間に樹木名を調べ、地域の方から学習をし、樹木名プレートの作成・設置を行いました。

2/15(金) **【熊本県】熊本市立白川中学校** **230名参加**



卒業記念に3年生全員が活動に参加し、学校に保存されている樹木カードをもとに2人1組でプレート作成を行いました。

2/15(金)

【愛知県】常滑市立三和小学校

42名参加



総合的な学習で森について学んでいるので、その中のひとつとして活動しました。プレートは表に樹木名を、裏には説明文を書きました。

2/15(金)

【愛知県】岡崎市立北野小学校

27名参加



委員会活動で校内の樹木名を調べ、電熱ペンを使用して樹木名を刻み、周りをマジックで装飾し完成させました。

2/28(木)

【愛知県】岡崎市立井田小学校

60名参加



児童がよく通る道の近くの木にプレートを設置しました。何気なく見ている木をじっくり観察し、身近な自然に親しみ機会になりました。

3/11(月)

【大阪府】門真市立第七中学校

7名参加



校内の樹木を調べ、文化祭で校内図と写真を使って発表しました。引退する3年生が活動を引き継ぎプレートを作成しました。

3/12(火)

【愛知県】日進市立梨の木小学校

215名参加



書写の時間を利用し、低学年と高学年がペアになって、学校の南側にある「なしこマウンテン」という山の樹木について調べました。

3/12(火)

【宮城県】仙台市立六郷小学校

111名参加



宮城県森林インストラクター協会指導のもと、「六郷みどりのレスキュー隊！」というテーマで行われ、樹木名プレートづくりを行いました。

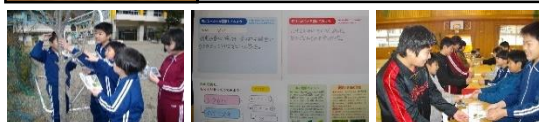
学校の木のしおりの活用

※当月中に写真を送付いただいた学校等を掲載

3/13(水)

【栃木県】日光市立足尾小学校

50名参加



卒業する6年生に感謝の気持ちを込めて在校生からのプレゼントとしてしおりを渡しました。他学年はクラス単位で自然観察を行います。

【2019年度】『樹木名プレート』・『学校の木のしおり』の寄贈先募集中！

樹木名プレート・学校の木のしおりを寄贈します

2019年4月実施分～受付中

ニッセイ緑の財団は、全国195箇所の「ニッセイの森」で森林づくりを行っています。身近な自然に目を向ける活動の一環として、「ニッセイの森」の樹木材から作成した「樹木名プレート」を、それを活用するための「学校の木のしおり」を寄贈します！

ニッセイの森：全国195箇所
植樹本数：136万本
で育れた樹木材を使用しています

送付キット



自分で作成した樹木名プレートを設置することで、身近な自然への関心や、探求的な学習意欲を高めることに繋がります。

「理科」や「総合的な学習の時間」、「生活科」、「生物クラブなどの委員会活動や部活動」など、さまざまな場面で活用することができます。

設置した樹木名プレートを使って、全校をあげて取組む場合は、

各学校オリジナルの「木のしおり」を提供します！

しおりに、樹木の写真・特徴や観察の視点等、自然観察などの教育活動で活用いただける内容を記載しております。



＜樹木名プレートとは＞

“ニッセイの森”の間伐材を利用し、樹木名プレートに加工する取組みを実施しています。当プレートを学校等に寄贈させていただき、森林を愛する人が増えていくことを目指しています。

＜学校の木のしおりとは＞

2019年度からの新しい取組みとして、設置した樹木名プレートを活用し、全校をあげて、自然観察等の教育活動に協力いただける学校に、学校オリジナルの「木のしおり」を提供させていただきます。



ニッセイ緑の財団の取組みがネットニュースに掲載されました！

＜内容＞

当財団が2017年より募集を開始している「樹木名プレート」と、同じく2019年より開始の『学校の木のしおり』についての取組み内容が、『alterna』と『YAHOO!ニュース』に掲載されました。

＜記事一部抜粋＞

「樹木名プレートが、CSR活動の一環として行われてきた植樹活動の成果として生まれたことにもとても意義があると思う。26年にわたって地道に活動を継続させてきたことで、新しい展開が生まれた。樹木は植えて育てるには長い時間がかかる。森とのつきあいにも長い時間が必要だ。親から子、子から孫、孫から曾孫へ。子供たちも樹木名プレートによって、木の名前だけでなく、森の時間の流れも感じ取ってほしいなと思った。」

【ご参考】
以下QRコードより当記事全文を閲覧することが出来ます。



【オルタナ56号(2019年3月29日)】



【YAHOO!ニュース(2019年3月26日)】



